

「日本型経営革新アカデミー」

1. 分科会名称	日本型経営革新アカデミー
2. 分科会活動の概要	<p>日本の 2018 年度の一般会計予算は、97.7 兆円の歳入であるが、そのうち 33.7 兆円の国債でまかなっている。</p> <p>だがそのうち 23.3 兆円は国債の返還や利子に使われるので 10.4 兆円しか、新規事業に活用できない。逆に言えば 10 兆円納税額が増加すれば、とりあえず「<u>国債発行の増加は抑えることができる</u>」。ちなみに法人税は 12.2 兆円であり、かつて最大納税額の半分である。</p> <p>もし民間企業の営業利益額が倍増できれば、将来の日本の基盤は築くことができる。1000 兆円の国債累積金額の償却議論は別途必要である。</p> <p>ところで日本型経営は明治時代からの習慣で固まっている部分があり、日本をイノベーションするためには、経営戦略、リーダーシップ、新商品開発、人材育成、組織改革など各企業がトライできる部分と国を挙げて対策を採らないと解決しない項目がある。</p> <p>日本が再び脚光を浴びるための施策を議論する会である。</p>
3. 講師	6 回にわたって議論するテーマは事務局(小田滋、山田弘美、細川泰秀)が準備するが参加者および適切な講師に随時知見の提供を受ける
4. 参加対象、募集人数	企業をリードできる経営層 15 名の方 ・2018 年度は募集を終了しました
5. 参加費用	年間 3 万円/年
6. 開催日程、時間	2017 年 12 月 19 日(火)日本財政、国家予算の実態 2018 年 2 月 20 日(火) 企業の経営方針と評価 2018 年 4 月 17 日(火)新商品、新サービスの創出 2018 年 6 月 19 日(火)銀行、弁護士、弁理士の役割[シリコンバレーとの差] 2018 年 8 月 21 日(火)人事、勤務制度の見直し 2018 年 10 月 16 日(火)雇用と流動性対策
7. 開催場所	アイオス五反田(本館) 〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-10-7 研修室
8. 取り上げるテーマ	6.に記述
9. 開催形式	■前半(16:00~17:15):ご講演 ■後半(17:30~19:00):参加者による議論
10. ABC協会担当者	山田弘文(専務理事)